



## Lesson 3

## 沖縄のことわざ

## Proverbs of Okinawa

## Learning Outcomes

Students will be able to:

1. explain the meanings of three Okinawan proverbs by pointing out how they reflect the way of thinking as well as the value system of the people of Okinawa.
2. compare and explain the similarities and differences between the above proverbs and three proverbs of their own countries.
3. explain how the spirit or mind-set of “Yuimaaru” reflects the implied “kindness” and “comradeship” as the expression saying “we become brothers and sisters upon an encounter” (*Ichariba choodee*).

沖縄には「いちゃりば ちょーでー」という<sup>ことわざ</sup> 諺があります。聞いたことがありますか。「いちゃりば」というのは「<sup>で あ</sup> 出会ったら」で、「ちょーでー」は「<sup>きょうだい</sup> 兄弟」という意味です。一度でも「<sup>い ち ど</sup> 出会ったら」皆「<sup>みな</sup> 兄弟」のように仲が良くなるという有名なことわざで、<sup>とくちよう あらわ</sup> 沖縄の人の特徴を表しています。このような「<sup>ふ し ぎ</sup> やさしさ」が沖縄の不思議な魅力だという人もいます。

日本の社会は「<sup>しやかい</sup> タテ社会」だと言われていて、<sup>しよく ば</sup> 職場の<sup>じよう げ かんけい</sup> 上下関係や<sup>せんばいこうはい</sup> 先輩後輩の関係には<sup>きび</sup> 厳しいものがあります。しかし、沖縄の社会は<sup>にんげん</sup> 人間関係が<sup>おだ</sup> 穏やかで、<sup>しまとくゆう</sup> 小さな島特有の<sup>きよう</sup> 共同意識があるようです。このような沖縄の社会は「<sup>どう い しき</sup> ヨコ社会」だと言われることもあります。

また、沖縄の人は、「<sup>たす あ</sup> ゆいまーる」と呼ばれる「<sup>せいしん</sup> 助け合いの精神」（「ゆい」は漢字で書くと「<sup>こうりゆう わ</sup> 結」、<sup>こま</sup> 「まーる」は「<sup>たが</sup> 交流の輪」という意味のうちな一ぐち）で、<sup>ふか</sup> お互いが深く<sup>むす</sup> 結びついていて、<sup>ぎよう じ</sup> 行事の時や<sup>こま</sup> 困ったことがある時など<sup>たす あ</sup> 助け合います。<sup>ちちかた</sup> 父方の<sup>しんせきえんじや</sup> 親戚縁者で<sup>こう</sup> 構成する「<sup>せい</sup> 門中」は<sup>むんちゆう</sup> 重要なものとなっています。大きな「<sup>じゆうよう</sup> 門中」になると100人以上が集まることもあるようです。「<sup>ぼん</sup> ーみー（清明祭）」やお盆などに<sup>そせんくよう</sup> 祖先供養をしたり、<sup>し ごと</sup> 死後は「<sup>むんちゆうぼか</sup> 門中墓」に入ったりします。また、<sup>きんせんてき</sup> 金銭的な<sup>そう ご ぶ じよ</sup> 相互扶助として、<sup>てい き てき</sup> 定期的に<sup>ゆうじん</sup> 友人や<sup>しんせき</sup> 親戚が

集まり、親交を深めながら行う「模合い（頼母子講）」があります。毎月一定の金額を出し合い、集まったお金を順番に取る形式が最も一般的です。金額は、2～3千円の模合いから100万円を越すようなものまで、いろいろあります。

沖縄は、本土に比べるとストレスが少ない社会だと言われています。これは沖縄の人の心に根付いている「てーげー主義」の精神にも関係がありそうです。ものごとを「なんくるないさ」（いつかは何とかなる）と、おおらかにとらえるのが「てーげー主義」で、沖縄が長寿県になった理由の一つになっているようです（もともと、最近ではさまざまな面で変化が見られますが・・・）。これからも、「いちやりば ちよーでー」の「やさしさ」を備えた平和で豊かな社会をつくるのが沖縄県民の願いです。



「いちやりば ちよーでー」の他にも、沖縄にはたくさんのことわざがあります。うちなーぐちで、ことわざや慣用語のことを、「昔言葉（んかしくとうば）」、「黄金言葉（くがにくとうば）」などと言います。黄金言葉は、祖先の知恵と生活体験の中から生まれてきたものですが、現在の私たちの生活に役立つものがたくさんあります。それから、友達や家族と話したり、作文を書いたりする時に黄金言葉や昔言葉を上手に使うと、表現が豊かになります。黄金言葉をたくさん調べて、昔の人々の考え方や価値観を知ると同時に、毎日の生活にも役立ててみましょう。また、国によっては、似たようなものもあると思いますが、比べながら読んでみましょう。

うちなーぬ くがにくとうば	かいしゃく いみ 解釈／意味	関連性のある 日本語のことわざ
あしびぬ ちゅらさー にんじゅぬ すなわい	おど まつ みごと さんかしゃ かず 踊りや祭りの見事さは、参加者の数に よる。	
あちゃーぬ ねーんち あみ	あした 明日がないはずがない。	あすあり おも ころ 明日ありと思う心のあだざくら
あらむん じよーぐーや どうー がんじゅー	そしよくじょうご からだ がんじょう 粗食上戸は体が頑丈。	
あわていーる なーか うていちき	あわてている中、落ち着け。	いそ 急がばまわれ

いじぬ んじらー ていーひき、ていーぬ んじら ー いじひき	いじ <sup>で</sup> て <sup>て</sup> ひ <sup>ひ</sup> て <sup>て</sup> 意地が出たら手を引っこめ、手が出 たら意地をひっこめろ。	
いちやりば ちよーでー	いきあ <sup>きょうだい</sup> み <sup>し</sup> し <sup>ひと</sup> 行逢えば 兄弟。見ず知らずの人 でも、縁 <sup>えん</sup> があつて <sup>であ</sup> 出会 <sup>きょうだい</sup> えば、兄弟 のようなものだ。	そ <sup>で</sup> ふ <sup>ふ</sup> り <sup>り</sup> 合 <sup>あ</sup> う <sup>う</sup> も、 <sup>た</sup> し <sup>し</sup> ょう <sup>ょう</sup> えん <sup>えん</sup> 袖振り合うも、他生の縁
いちゃんだむんや にーだかむん	もの <sup>ね</sup> た <sup>たか</sup> ただの物は値が高いもの。	ただほど高いものはない
うや ゆし、くわ ゆし	おや <sup>おし</sup> こ <sup>おし</sup> 親が教え、子が教え合う(互いに教 え合うこと)。	
かーぎや かーどうやる	かお <sup>だ</sup> か <sup>わ</sup> 顔立ちは皮である。	
きらまー みーしが、 まちげー みーらん	け <sup>ら</sup> ま <sup>み</sup> ま <sup>まつげ</sup> 慶良間は見えるが、睫毛は見えな い。	とう <sup>だい</sup> く <sup>くら</sup> 灯台もと暗し
さーたーぬ あまさとう こうれーぐすぬ からさ とうれー ぬーすが	さ <sup>き</sup> とう <sup>あま</sup> とう <sup>がらし</sup> から <sup>と</sup> 砂糖の甘さと唐辛子の辛さを取れ ば何になる？	
しきのー ちゆい しーじーしる くらする	せ <sup>げん</sup> た <sup>た</sup> が <sup>たす</sup> あ <sup>く</sup> 世間は互いに助け合つてこそ暮らすも のだ。	よ <sup>なか</sup> も <sup>も</sup> 世の中は、持ちつ、持たれつ
しめー しっち むのー しらん	が <sup>く</sup> もん <sup>し</sup> 学問は知つて、ものは知らない。( じ <sup>ょう</sup> し <sup>き</sup> 常識がない)	ろん <sup>ご</sup> ろん <sup>ご</sup> 論語読みの論語しらず
ちよー くるる でーいち	こ <sup>ころ</sup> だ <sup>い</sup> いち <sup>ち</sup> 人は心こそ第一。	
ちら かーぎ やか ちむ ぐる	か <sup>お</sup> よう <sup>ぼう</sup> ち <sup>む</sup> こ <sup>ころ</sup> か <sup>ん</sup> じん <sup>ん</sup> 顔、容貌より、肝(心)が肝心。	見目より心
ぬちどう たから ★	いの <sup>ち</sup> た <sup>から</sup> 命こそ宝。	命あつての物種
みーぬ いらー くび うーりり	え <sup>ら</sup> けん <sup>きよ</sup> 偉くなればなるほど、もっと謙虚に なりなさい。	みの <sup>こ</sup> う <sup>べ</sup> た <sup>た</sup> い <sup>な</sup> ほ <sup>ほ</sup> 実るほど、頭を垂れる稲穂か な
やーなれーる ふかなれー	い <sup>え</sup> 家でのしつけや態度が、外でも自 然に出てくる。	
わらべー ならーしむん	こどもは何でも習 <sup>なら</sup> わせるもの。	

- ★ 「ぬちどうたから」という黄金言葉は、下記の琉歌に由来しています。この琉歌は、琉球王国最後の国王である尚泰王が、首里城を明け渡すときに詠んだものだとされています。

いくさゆん しまちみるくゆん やがて  
なげくなよ 臣下 命どう宝



## Tasks & Discussions

1. Divide into groups, and choose some of your favorite proverbs of your own country along with that of Okinawa, then discuss them one by one in terms of reasons behind them.  
(グループに分かれて、自分の好きなことわざと沖縄の諺を一つずつ選んで、その理由を説明しあってください。)
2. Discuss how we can make good use of proverbs.  
(生活のさまざまな場面で、諺を生かせると思いますが、具体的にどのような方法があるか挙げてみましょう。)
3. Compare the differences and similarities between “Ichariba-choode” and “Sode suriau mo tashoo no en”.  
(「いちゃりば ちょーで一」と「袖振り合うも他生の縁」を比較して、その類似点と相違点を話し合みましょう。)
4. Discuss about “Yuima-ru” and how we can promote classroom activities of “Yuima-ru.”  
(「ゆいまーる」の精神について話し合みましょう。また、クラスの「ゆいまーる」の活動を、もっと活発にしていくために、どうすればよいか話し合みましょう。)
5. Proverbs originated from the lives of Okinawans. What kind of values do you think are reflected in them. (Ex: Nuchiduu-takara, Achaanu neendichi ami)  
(黄金言葉は、うちなーんちゅの生活の中から出てきたものですが、そこにはどんな価値観が反映されていると思いますか。(例：ぬちどうたから、あちやーぬ、ねーんでいち あみ)